

わたしの 妊娠報告書

記載日 H21 年 9 月 1 日

おめでた宣言日	H21 年 1 月
年齢 (33) 歳	平成 (18) 年 (5) 月 結婚
私は (体外受精)	で妊娠しました。

不妊治療歴	(2) 年 (6) ヶ月
他院での治療歴	(なし) あり→内容 ()
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 (?) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 タイミング法 (?) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 (?) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発 +人工授精 (?) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST 法 () 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 体外受精 (2) 回	
<input type="checkbox"/> 顕微授精 () 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

いろいろなことの結果(子宮内膜の厚さ、精子の状態、受精卵のグレードなど...)に、過度の期待をせず、かといって必要以上に落ち込まず、淡々と平常心でいるようにしました。本心は、泣きたくなることもありましたが、治療と先生を信じてあきらめないようにしました。

わたしの 妊娠報告書

治療にまつわる苦勞話し

治療内容

幸い薬の副作用もなく、治療自体に苦痛を感じることはあり
ませんでした。タイミング法から体外受精まで、フルコースで行うこと
になりました。次のステップへいく時に「これでもダメか。」と思い悲しい
時もありましたが、やらずに後悔するよりもやるだけのことはやってみよう
と思いました。唯一つかったのは採卵の後の吐気です。(数時間のことですが)

その他 (通院・治療費・家族など)

夜診が20時までだったり、注射だけなら夜遅くても施行して頂けに
り、仕事を続けながらでも治療を継続できたことが、大変助かりました。
今や多くの方が不妊治療を受けているとは言いますが、まだまだ職場
や友人に気軽に話せるような雰囲気ではないのが現実だと思いました。
私の心の中でも、周囲の人に知られたくないという気持ちを持つ通院することが
しんどかったです。

治療中の方へのアドバイス

経済的負担も大きいし、時間も多く費やすし、苦勞が多いですが、
考えても悩んでも、やってみないとわからないということを実感しました。主人と
の協力なしにはできないことですので、2人で話し合ったり、たまには嫌悪
にならなくてもいいですが、「夫婦で一緒に」という気持ちを忘れないように
お互い労ることが大切だと思いました。

スタッフへのご意見など

忙しい中、いつも笑顔で対応してくださり、先生、看護師さん、受け付けの方、
皆様には、本当に感謝しています。他の産婦人科へ通ってみて、診察台が上がった
まま長い間待ったり、中待合いや、隣の診察台から他の患者への先生の説明が聞こえ
たりすることがありました。ASKAでは、そういったことがなかったことで、スタッフの方々の
心配りに感銘を受けました。大変なお仕事だとは思いますが、頑張ってください。